



名古屋部会(第 1 回)

日 時： 2015 年 4 月 11 日 (土) 16:30 ～ 18:30

場 所： 金城学院大学サテライト (名古屋市栄)

参加者： 計16名

【内容要旨】

栄駅隣接の金城学院大学のサテライト教室を水野先生の手配により会場としてお借りし、第1回の名古屋部会を上記の参加者を得て開催した。 中学校・高等学校・大学の先生方など16名が参加した。

名古屋部会は学校の授業で経済を教える上で役に立つ教材や授業実践に関する情報交換を目的に開催した。第一回であり、野間敏克氏(同志社大学政策学部 教授)より主催する経済教育ネットワークの趣旨や活動をご紹介頂いた。その後、参加者による自己紹介と意見交換を行った。

意見交換では、中学校や高等学校での経済分野の扱いや学校による相違について、①自由度の高い学校とそうでない学校があり、経済分野の扱いにかなり差があること、②政治・経済について、経済から先に教える学校があることとその是非、③株式投資ゲームブルサ等の体験型教材の活用、④「現地現物」による企業等の見学による学習、⑤受験希望の生徒には経済が入試科目にないために学ぶ目的が明確化できない、一方で就職希望の生徒には社会人になる上で経済は必須である、等の活発な発言があった。

今後の名古屋部会の進め方については、教材や授業実践の紹介や「ものづくり愛知」を知るために企業等の経済活動の現場の見学等を行うこととした。次回は2015年6月13日(土)15時30分から17時30分に金城学院大学サテライトにて、椋山女学園中学校の教員による株式投資ゲームブルサの実践の紹介を行うこととした。当日の参加者以外にも広く名古屋部会への参加を呼び掛けることとした。参加者からは発言も多く、名古屋部会の良いスタートとなった。製造業を中心として経済活動の活発な名古屋での経済教育の普及の意義は大きく、今後の部会の発展が期待される。



初めての部会の様子

撮影と文責： 水野 英雄

次回開催予定： 6月13日(土)15時30分～17時30分 場所は金城学院大学サテライト(名古屋市栄)。議題は、教材の実践とそれに関するディスカッションほか。